

# えひめ 地域づくり協働体通信

第32号では東温市「横河原ぷらっとHOMEと  
伊方町「三崎高校 せんたん部」の活動をご紹介します。

## 「横河原ぷらっとHOME」について

まちの活性化を目標に、東温市と地域住民でワークショップを開催して横河原ぷらっとHOMEがオープンしました。現在は東温市と市民が協働で運営しており、子どもからお年寄りまで誰もが気軽に立ち寄れる「多世代交流拠点」として利用されています。

伊予鉄横河原駅から徒歩1分ほど。カフェスペースやミニ図書館も設置されており、電車やバスの待ち時間に休憩所としても便利に利用できます。また、音楽教室や俳句教室、各種ワークショップなども開催しています。今回はH29年度から東温市地域おこし協力隊として活動し、現在は横河原ぷらっとHOME利用者協議会の代表をされている藤岡さんに取材させていただきました。



## イベントや企画の様子



## 地域おこし協力隊

地域おこし協力隊に関しては、各市町で募集しており、各市町や愛媛ふるさと暮らし応援センター等のホームページで確認できます。

移住前に知り合いの農園で働いていた際、偶然地域おこし協力隊について知り、東温市に応募しました。協力隊に限らず、知人の紹介で地域活動に参加する形もあります。ぷらっとHOMEがそういった方々の相談窓口にもなれたら良いと考えています。

## 今後の展望

放課後を利用した教育環境の確保の為、休館日の月、水曜日での利用も考えています。地域住民が中心となって小中学生を対象とした勉強会や体験教室を計画しています。ここ数年イベントが開催できなかった為、今後は少しずつイベントも再開できたらいいと思っています。

また、現在は東温市と協働でぷらっとHOMEの運営を行っていますが、市民で運営できる部分をできる限り増やしていくことを目標にしていますので、運営基盤をしっかりとして築いていきたいです。



## 活動のきっかけ

藤岡さんは、オープンから1年後のH29年4月から地域おこし協力隊として東温市に移住しました。協力隊の活動拠点としてぷらっとHOMEを利用したことがきっかけです。当時からスタッフとして運営に関わり、イベントの企画等も行っていました。ぷらっとHOMEに人が集まることで、横河原商店街や市全体の活性化につながればという思いで活動しています。

## 横河原ぷらっとHOMEに関するお問合せ先

〒791-0203 東温市横河原189番地4 (TEL: 089-916-5075)

【開館時間】10時～18時

【収容人数】約30～40名程度

【入館料】開館時間内は原則無料

【休館日】月・水曜日、8月13日～15日、12月29日～1月3日

※専用利用の場合は料金が発生する場合がありますのでお問合せ下さい。



## 三崎高校「せんたん部について」

伊方町は四国の最西端、日本で一番細長い佐田岬半島に位置しており、三崎高校は伊方町唯一の高校です。近年は入学生減少による学校存続の危機にありましたが、令和元年度から生徒の全国募集や魅力化プロジェクトに取組み県内外から多くの生徒が入学しました。

今回は三崎高校の取組みの中で「せんたん部」の活動について特集します。せんたん部はH29年度より全校生徒参加型で地域活動を行っており、設立から活動に携わっている津田先生に取材させていただきました。

### Q せんたん部の活動について教えてください。

A 地域活性化に取り組む有志のグループです。普段は、P R、ツアー、商品開発、アート、カフェ、防災の6つのグループに分かれて活動を行っています。近年では、アワードユース2020最優秀賞や第12回地域再生大賞受賞など活動を通じて様々な賞を受賞しました。

### Q 次に活動のきっかけを教えてください。

A H27年に土曜授業推進事業を実施することになりました。当時は伊方町唯一の高校でありながら、地域との関わりが少なく感じていました。そこで、生徒に地域との関わりも持たせたいとの思いから、総合学習の時間を利用したのがきっかけです。最初は「三崎おこし」の活動の中で2名の生徒と始めました。H29年度に初期メンバーが3年生となり、「せんたん部」として活動を開始しました。



カフェ班の皆さん

### Q 活動を行う中で苦労したこと

A 前例があまりなかったことです。また、当時は探究活動より学力向上に時間を使ってほしいとの声も少なくありませんでした。そういった中、活動をするからには結果を出し「生徒のためになる活動にしたい」想いで活動を進めてきました。現在では卒業した生徒から「せんたん部の活動が役に立っている」と言ってもらえたり、「せんたん部」をきっかけに町外から入学したりする生徒も多く、本当に良かったです。

### Q 設立からの変化。

A 当時は分校化の問題がありましたが、せんたん部の活動が広まり県内外から生徒が集まるようになりました。今では全校生徒137名中76名が寄宿舎生です。活動前はこのような結果になることは全く想定してませんでした(笑)

### Q 最後に今後の展望を教えてください。

A 魅力の発信が目的ではなく、地域との関わりなどをせんたん部の活動を通じて生徒に伝えていきたいです。

津田先生ありがとうございました。三崎高校について詳細はホームページやSNSで情報発信していますので、是非ご確認ください。



アート作品

### 【生徒の声】

様々な活動を通して、これまで知らなかったことを知れたり、多くの人と交流することができたりして、自分の世界が広がりました。「ありがとう」という声活動の励みになっています。

## 三崎高校に関するお問合せ先

〒796-0801 西宇和郡伊方町三崎511 (TEL: 0894-54-0550)

【三崎高校HP】 <https://misaki-h.info/>

【三崎高校facebook】

[www.facebook.com/愛媛県立三崎高等学校-1088148851361061/](http://www.facebook.com/愛媛県立三崎高等学校-1088148851361061/)

ホームページ、facebook、YouTubeで情報を発信しています。

ぜひ、ご覧ください！



## センターの愛称が決定しました！

【愛称】tiliki/ちりき

### 1. 地域の力になる

「現場伴走型」の組織として、地域における特徴に応じた自主的・主体的な取組みを後押しする。

### 2. 地域の力を見出す

様々な角度から地域の特性や特徴を把握し、地域の資源や住民の力を引き出して、地域に活力創造へと結び付ける。

### 3. 地域における知の力を担う

実践活動で得た「気づき」や「アイデア」により事業のプロセスや効果を調査・分析し地域の価値創造につなげる。



ちいきの応援団。

公益財団法人 えひめ地域活力創造センター

この情報紙に関するお問合せ先  
(公財)えひめ地域活力創造センター  
TEL: 089-926-2200  
E-mail: ehime-chiiki@ecpr.or.jp

